



KYOEI TECHNOS



本社工場

- 本社所在地：兵庫県高砂市
- 事業概要：製缶・機械加工・検査を中核に、発電用ガスタービン、航空・宇宙、防衛、エネルギー関連分野の高難度製品を製造。
- 常時使用する従業員：180名
（グループ全体 2026年7月時点）
- 現在の売上高：28億円
（グループ全体 2026年3月期）
- 法人番号：1140001045491
- Web：https://kyoei-technos.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
栄井 隆之

「地域から日本の基幹産業を支える高難度金属加工企業へ」

共栄テクノグループは、製缶・機械加工・検査を一貫して担う共栄テクノ株式会社と、精密金型・精密加工で培った高精度加工技術を有する株式会社ハクロプレシジョンが連携し、高い品質と信頼性が求められるものづくりに取り組んでいます。
工場の建設、大型・高精度設備への投資及びM&Aを通じて、航空・宇宙、防衛、エネルギー分野の需要拡大に応え、地域雇用と社員の成長・待遇改善につなげながら、2036年にグループ売上高100億円を目指します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2036年にグループ売上高100億円を達成する。大規模投資により生産能力と品質保証体制を強化し、持続的な成長を目指す。



課題

- ・既存工場では、大型部品に対応する加工能力、恒温化された検査環境、生産スペースに制約がある。
- ・発電用ガスタービンを中心とした需要増に対応する製缶・機械加工・検査能力の増強が必要。
- ・航空・宇宙・防衛・エネルギー等の高信頼性分野に対応する品質保証体制と人材育成の強化が必要。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・新工場を建設し、恒温管理された生産・検査環境を整備することで、高精度部品の安定生産と生産能力の拡大を図る。
- ・大型加工機の導入により、従来は対応が困難であった大型部品や高難度加工への対応力を強化する。併せて、大型・高精度三次元測定機及び恒温検査室を整備し、大型・高精度部品の品質保証体制を高度化することで、高付加価値案件の受注拡大と競争力強化を図る。
- ・発電用ガスタービン部品の需要拡大に対応するため、複数の溶接ブースを整備し、製缶・溶接工程の生産能力を増強する。

実施体制

- ・代表取締役を総責任者とし、製造・品質保証・技術・営業・管理の各部門が参画する100億円達成プロジェクトを組成する。
- ・新工場のレイアウト設計、設備仕様の策定、品質保証体制の高度化、人材の採用・育成を部門横断で推進していく。
- ・M&A候補の探索から事業承継案件の検討、買収後のPMIまでを一貫して推進する体制を整備する。
- ・共栄テクノ(株)と(株)ハクロプレシジョンの技術・人材交流を促進し、加工ノウハウや設備、顧客基盤を相互活用することで、グループ全体の高精度加工力と生産性を高める。

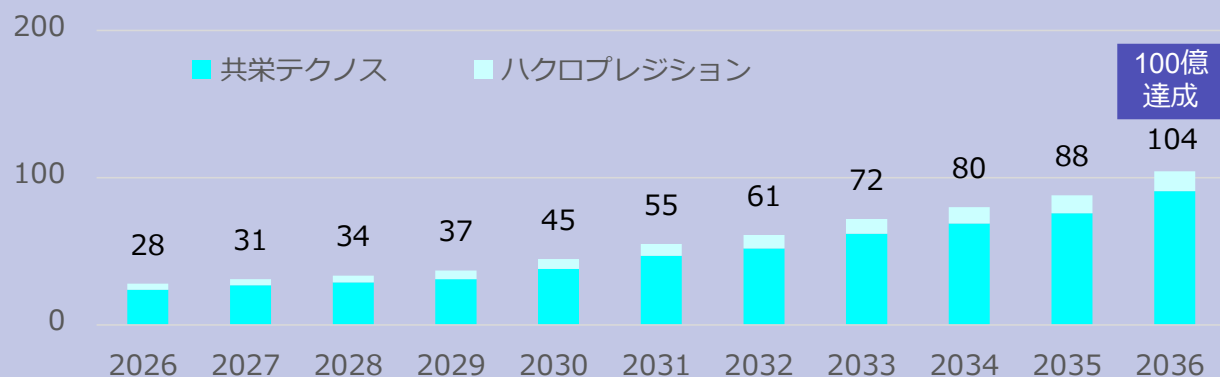
※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円実現に向けたグループの体制

共栄テクノスグループは、共栄テクノス(株)を親会社、(株)ハクロプレジジョンを子会社とする企業グループです。共栄テクノス(株)は、製缶・機械加工・検査までを一貫して担う生産体制を強みとし、(株)ハクロプレジジョンは、精密金型・精密加工で培った高度な加工技術を有しています。

2036年のグループ売上高100億円達成に向けて、新工場を成長投資の中核拠点と位置付け、大型加工機、高精度三次元測定機、検査用恒温室、複数の溶接ブース及びCAD/CAMを計画的に整備します。併せて、2032年及び2035年に、それぞれ5億円規模のM&Aを実施し、技術、人材及び生産基盤を段階的に拡充することで、事業規模の拡大を図ります。技術力と生産基盤を結集することで、発電用ガスタービンをはじめ、航空・宇宙、防衛、エネルギー分野の需要拡大に対応し、地域に根差しながら日本の基幹産業を支える企業グループを目指します。

売上高



【グループの体制】

共栄テクノス株式会社
製缶・機械加工・検査

株式会社ハクロプレジジョン
精密金型・精密加工

共栄テクノス(株)を中核に、(株)ハクロプレジジョンの精密加工技術を組み合わせ、グループ全体で高難度分野への対応力を強化していく。